

抗 議 文

米原子力潜水艦アッシュヴィルの横須賀基地入港に強く抗議する。横須賀基地は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦アッシュヴィルはただちに出て行くこと。

米海軍第7艦隊司令官 スコット・スウィフト中将 殿
在日米海軍司令官 ダン・クロイド少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 デービット・オーエン大佐 殿

2013年7月25日

原水爆禁止神奈川県協議会
神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

7月24日午前11時25分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦アッシュヴィルが横須賀基地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年6回目、原子力艦船の入港も7回目で、通算873回となった。

昨年も、原子力艦船の横須賀滞港日数は延べ298日に及んでいる。このように原子力艦船の入出港が頻繁におこなわれ、かつ長期にわたって滞港することは、神奈川県民や首都圏住民を原子力艦船事故の危険にさらし、東アジアの軍事的緊張を強めるものである。

現在、北朝鮮の核・ミサイル開発、挑発的行動などをめぐって北東アジアの軍事的緊張が強まっている。こうした中で、アメリカなどによる軍事演習もおこなわれ、いっそう軍事的緊張を高めている。武力行使、核兵器の使用という最悪の事態を防ぐためにも、緊張をエスカレートさせない平和的解決のための外交努力がいよいよ重要になっている。

米原潜の核兵器搭載の可能性は否定できず、「核持ち込み」の問題も重大である。核密約によって核が横須賀に持ち込まれていたことはすでに明らかになっている。核を積んでいないことを証明すると同時に、核「密約」はただちに破棄することを要求する。

首都圏や三浦半島で巨大地震の発生確率が高まっている今日、巨大地震による原子力艦船の原子炉事故に強い不安を抱いている。我々はこれまで、再三にわたって巨大地震による原子力艦船の事故の可能性や影響、対策について検証し情報を公開することを要求してきたが、米軍はこれに答えず、詳細な情報の開示を拒否する態度をとっている。この要求にすら誠実に答えようとなしないうちで、原潜の横須賀寄港は到底許されない。改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、対策について明らかにすることを強く要求する。

横須賀基地は原子力艦船の母港でない。原子力潜水艦アッシュヴィルはただちに横須賀から出て行くこと、原子力空母GWの横須賀基地の母港化をやめることを要求する。

以 上